クラウドセキュリティ基本方針

当部署は、技術と品質と誇りをもち社会の発展を支え続けることを企業理念とし、持続的な成長を遂げるとともに、持続可能な社会の実現に貢献しながら、働くすべての人が誇りと歓びを持って、変革にチャレンジすると共に、高い技術と品質で社会の多様なニーズに応えていくことにより、顧客及び関係会社皆さまのニーズに迅速・的確にお応えできるよう、部署一丸となり努力を重ねてまいりました。

この総合設備エンジニアリング企業としての事業活動の中で、インターネットを活用した安全かつ確実なサービスの提供を行うために、クラウドサービスの積極的な利用を推進しています。

クラウドサービスの利用においては、情報セキュリティの中でも固有のリスクが存在し、このリスクへの安全対策及びリスクが顕在化した際の影響を最小限に抑えることが、最重要課題と考えており、これらに取り組むために最大限の対策を講じます。

また、本基本方針に基づいて、情報セキュリティマネジメントシステムの一部として、クラウドセキュリティに特化した対策を構築・運営し、お客さまの情報資産に対し必要な保護と適切な安全対策を実施することは当然のこととして、安全かつ確実なサービスを永続的にご提供してまいります。

制定日：2025 年 4 月 1 日

改定日：2025 年 4 月 1 日

株式会社中電工

技術本部　技術本部長

遠部　日出夫

１．対象範囲

クラウドサービスカスタマとして、利用するクラウドサービスのセキュリティを確立するために、ISO/IEC27001 適用組織におけるクラウドサービスを利用する部門及び従業員を対象とします。

２．クラウドサービス利用の管理体制

クラウドサービスの利用は、以下の体制により管理を徹底します。

(1) 情報セキュリティマネジメントシステムの一部としてクラウドセキュリティにフォーカスし、提供を受ける個々のクラウドサービスに責任を持ち、管理者権限を付与するクラウドサービス管理者を設置します。クラウドサービス管理者は、利用するクラウドサービスにおけるリスクアセスメントの実施を含め、クラウドサービスの利用における必要なセキュリティ対策の構築・運営に関して利用者を指導します。

(2) クラウドサービスの利用者は、クラウドサービス管理者の指揮・管理のもと、許可された環境及びアクセスにより定められたセキュリティ対策を実践し、クラウドセキュリティに関する取組みを推進します。

３．クラウドサービス上の情報及び資産

クラウドサービスの利用は、クラウドサービス固有のリスクとなり得る以下の事項を考慮し、必要な管理策を実施します。また、クラウドセキュリティを正しくかつ確実に運営出来るようにするために、これらの管理策は定期的に見直しを行います。

(1) クラウドサービスプロバイダによるアクセス

クラウドサービス上に保存する情報は、クラウドサービスプロバイダによるアクセス及び管理の対象となる可能性がある。

(2) クラウドサービス上への意図しない資産の保持

アプリケーションプログラム等の資産は、クラウドサービス上に保持される可能性がある。

(3) 仮想化されたマルチテナント上での処理

クラウドサービス上での処理は、マルチテナントの仮想化された環境で処理される可能性がある。

(4) 国外でのデータ保存

クラウドサービスプロバイダがクラウドサービス上のデータを国外の施設等で保存する可能性がある。

４．クラウドサービスにおける障害等への対応

クラウドサービスにおいて障害等のインシデント又は事象が発生した場合は、発見者は速やかにクラウドサービス管理者又は情報セキュリティ管理責任者にその内容を報告し、必要に応じて当社の実施可能な緊急措置を講じます。インシデントについては、その原因を可能な限り分析し、再発防止又はその影響を最小限にとどめるための措置を講じるよう努めます。

５．法律・規範等の遵守

クラウドサービスの利用において関連する法規制等及び、契約上の要求を遵守します。また、クラウドサービスプロバイダの所在地及びクラウドサービスプロバイダがクラウドサービス上のデータを保存する可能性のある国を考慮し、関連する法規制等を特定します。

６．本基本方針違反に対する措置

クラウドサービスの利用者は、本基本方針に従って行動します。違反した場合は、社員就業規則に基づいた処罰の対象とします。

７．ISO27017 アドオン認証取得概要

株式会社中電工　技術本部　情報通信技術部は、情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格である ISO/IEC27001 の認証の付加価値として ISO/IEC27017 に取り組みます。